

＜京都市立鏡山小学校 学校沿革史＞

昭和 6年(1931年)4月 1日	「京都市鏡山尋常小学校」として開校。 それまでは山階尋常小学校に通学。 山科町の京都市編入と同時に新設校として開校。
5月 8日	校章が決定。
昭和 7年(1932年)8月22日	鏡山教育会が発足し、発令式を行う。
昭和16年(1941年)4月 1日	校名が「京都府京都市鏡山国民学校」と改称される。
昭和22年(1947年)4月 1日	校名が「京都市立鏡山小学校」と改称される。
昭和26年(1951年)3月 5日	鏡山小学校の校歌ができ、発表会を行う。
昭和39年(1964年)	講堂兼体育館が竣工。
昭和40年(1965年)	現在の北校舎が竣工。
昭和42年(1967年)	現在の南校舎が竣工。現在の体育館のある場所にプールが完成。
昭和45年(1970年)4月 6日	鏡山小学校の分校が「京都市立陵ヶ岡小学校」として独立。
昭和49年(1974年)	現在の本館が竣工
昭和50年(1975年)	明鏡館が完成。
昭和54年(1979年)	東校舎が竣工。
平成 2年(1990年)	現在の北校舎を大規模改修する。
平成 4年(1992年)	現在の南校舎を大規模改修する。
平成 7年(1995年)	東校舎・プールを取り壊し、体育館が現在の場所に竣工。
平成 8年(1996年)	プールが現在の場所に竣工。
平成10年(1998年)	本館1階に「ふれあいサロン」を整備。
平成12年(2000年)	北校舎2階に「コンピュータールーム」を整備。
平成16年(2004年)	体育館南側のフェンスが完成。
平成18年(2006年)	「学校運営協議会」を発足。
平成20年(2008年)	「放課後まなび教室」を開設。
平成22年(2010年)	北校舎・南校舎・本館・明鏡館の耐震工事が完成。
平成24年(2012年)	学校図書館のビフォーアフターが完成。
平成26年(2014年)	北校舎のトイレ全面改修工事が完成。
平成27年(2015年)	体育館北側にビオトープが完成し、「ホテルのせせらぎ」と命名。
平成30年(2018年)	北校舎・南校舎・本館の環境配慮型校舎等長寿命化事業建築その他改修工事が完成。それに伴い、本館を西校舎と改名。 西校舎2階にランチルームを新たに設置。
平成31年・令和元年(2019年)	西校舎南側にネット設置。
令和2年 (2020年)	3月5日～3月19日 臨時休業 新型コロナ感染拡大防止のため
令和2年 (2020年)	新型コロナ感染症緊急事態宣言発出4月16日より 全国一斉臨時休業措置6月1日まで
令和3年 (2021年)	新型コロナ感染拡大 学級閉鎖の措置多数 オンライン授業 GIGA端末(タブレット)一人一台使用 GIGA端末活用学習の促進